

環境パフォーマンスデータ 第三者検証報告

中外製薬株式会社 御中



BUREAU
VERITAS

2019年3月29日

ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部



ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、中外製薬株式会社(以下、中外製薬)の責任において作成される「アニュアルレポート2018」(以下、レポート)に記載される環境関連データのうち、中外製薬から要請のあったものに対して第三者検証を実施した。検証の目的は、環境関連データの信頼性及び正確性を確認し、客観的証拠に基づき検証意見を表明することである。

1. 検証概要

ビューローベリタスは、中外製薬との合意に基づき、以下の検証を実施した。

2018年度(2018年1月1日から2018年12月31日)の事業活動に伴う環境負荷データ

検証対象	訪問サイト	検証手続き
中外製薬及び国内連結子会社7社(*1)、海外連結子会社1社(*4)の事業活動に伴うエネルギー使用量、エネルギー起源CO ₂ 排出量、産業廃棄物発生量	・中外製薬 本社 ・中外製薬工業株式会社 藤枝工場 ・中外製薬 浮間研究所、及び中外製薬工業株式会社 浮間工場	・中外製薬本社及び訪問サイトによって策定された書類の確認 ・責任者・担当者へのインタビュー ・データの計測方法に関する現場査察 ・収集・報告されたデータと根拠資料との突合
中外製薬及び国内連結子会社4社(*2)、海外連結子会社1社(*4)の事業活動に伴うフロン類(*5)補てん量及び排出量		
中外製薬及び国内連結子会社3社(*3)、海外連結子会社1社(*4)の事業活動に伴う用水量及び排水量		
中外製薬及び中外製薬工業株式会社の事業活動に伴うNO _x 排出量、SO _x 排出量、ばいじん排出量		
GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard に基づいて算定されたスコープ3排出量のうちカテゴリ5及び6の排出量	・中外製薬 本社	・中外製薬本社によって策定された書類の確認 ・責任者・担当者へのインタビュー ・収集・報告されたデータと根拠資料との突合

(*1) 中外製薬工業(株)、(株)中外臨床研究センター、(株)中外医科学研究所、(株)シービーエス、中外物流(株)、(株)未来創薬研究所、(株)メディカルカルチュア

(*2) 中外製薬工業(株)、(株)中外医科学研究所、中外物流(株)、(株)未来創薬研究所

(*3) 中外製薬工業(株)、(株)中外医科学研究所、(株)未来創薬研究所

(*4) 中外ファーマボディ・リサーチ・ピーティーイー・リミテッド

(*5) フロン排出抑制法に準拠して中外製薬により報告されたフロン類

この検証は、現時点での最良の事例に基づき、ビューローベリタスが定める非財務情報報告に対する第三者検証の手順とガイドラインを使用して実施された。ビューローベリタスは、本報告書に示された範囲に対して限定的保証を行うにあたり、国際保証業務基準 (ISAE) 3000 を参考にした。

2. 検証結果

上述した検証の方法及び活動によれば、

- ・検証において確認した情報が正確でない、及び対象期間における実績を適切に反映していないことを示す事項は発見されなかった。
- ・中外製薬は、検証対象範囲の定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

ビューローベリタスは、全社員の日常業務活動において高い水準が保たれることを目指すためのビジネス全般にわたる倫理規定を定め、特に利害の対立を避けることに配慮しています。中外製薬に対するビューローベリタスの活動は、サステナビリティ報告に対するものだけであり、我々の検証業務がなんら利害の対立を引き起こすことはないと考えます。